

# 「学校は今」 ～授業でのICT機器の 活用に取り組んでいます～

八代市教育委員会では、子どもたちの確かな学力の育成を目指して、特色ある事業を進めています。

問合せ 学校教育課 ☎30-1673



## ICTって何

ICTとは、※インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジーの略語で、「情報通信技術」と訳されています。

※Information and Communication Technology

## ICT機器には何があるの

学校で活用している主な機器には、パソコン、プロジェクター、大型デジタルテレビ、電子黒板、実物投影機、デジタル教科書、デジタルカメラがあります。

今年度、市立の小中学校18校と特別支援学校のコンピューター室にタブレット併用型パソコン、市立の全中学校3年生教室に電子黒板と理科の指導者用デジタル教科書を整備し、児童生徒の学力向上のための授業改善に取り組んでいます。

▲大型デジタルテレビやタブレットを活用して授業を実施。また、情報教育担当の先生を対象とした研修会では、タブレットの操作方法や電子黒板の活用方法を学びました。



## ICT支援員の配置

タブレット併用型パソコンが整備された学校を中心に、3人のICT支援員を巡回で派遣し、ICT機器活用の推進に努めています。支援員は子どもたちと先生へのICT機器の操作補助やICT機器を活用した授業づくりなどの支援をしています。

## 「分かる授業づくり」に向けて

夏休み期間中、市立の全学校の情報教育担当の先生を対象に「ICTステップアップ研修会」を実施しました。ICT機器の良さを生かした「分かる授業づくり」に向けて、先生たちの努力で研究実践が進んでいます。

また、八代小学校と千丁中学校は、県から「未来の学校」創造プロジェクト、市から「ICT推進モデル校」として研究指定の委嘱がなされ、ICT機器を活用した授業づくりの実践を先導的に行っています。

## 【子どもの感想】

■作業が簡単にできるので、非常に画期的だと思う。授業が楽しくなった。

■タブレットでは、写真がすぐに取り込め、自分が伝えたいプレゼンテーションが作りやすくなった。

■タブレットに書き込むと電子黒板に映されるので、友達を考えがすぐに見られる。

■算数の学習では、タブレットで図形を動かしながら考えるので分かりやすい。

## 【先生の感想】

■タブレットが導入されて、まだ1か月足らずだが、子どもたちの習熟スピードはとても速い。今後、学校全体でタブレットを活用した授業実践を行い、子どもが「分かる」「できる」授業につなげていきたい。

■タブレットを使って、いろいろな写真や資料を提示しながら、分かりやすく授業をすることができるようになった。

■子どもたちの授業に対する意欲や集中力が高くなっている。